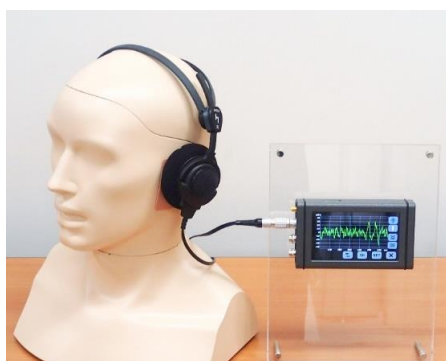


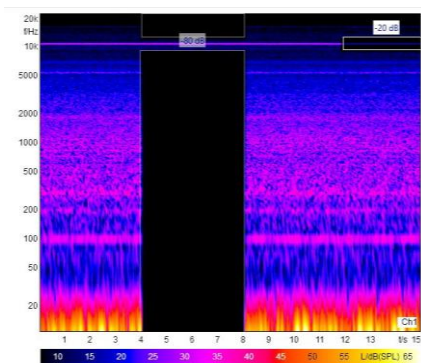


感性を考慮した音質評価・音質改善 ～静音化から快音化へ向けた 製品音のサウンドデザイン～

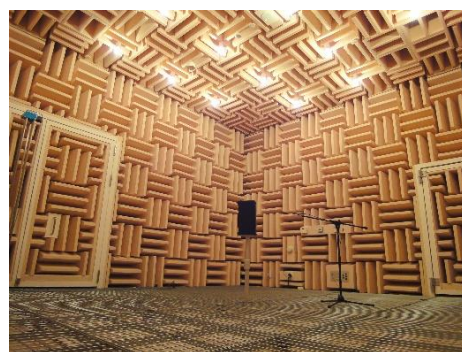
【おすすめ技術分野】音響振動制御「音響分析・評価」



バイノーラル録音装置



音質評価の一例



無響室

日 時

2024 年 10 月 30 日(水) 14:00～16:30

場 所

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（本部）
東京都江東区青海 2-4-10

●ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前

●りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩 15 分

朝夕無料送迎バスあり、都営バス海 01 テレコムセンター駅前下車

申込締切日

2024 年
10 月 21 日
(月)

定 員

20 名

受講料

2,500 円

特徴

- ・製品音の PR に役立つ音質評価について解説します
- ・サウンドデザインに関連した研究事例を紹介します
- ・実験室や支援機器の見学会も実施します

詳細は裏面またはこちら



お問合せ先

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 技術振興室 技術セミナー係
〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10 TEL:03-5530-2308
メール宛先: kenshu@iri-tokyo.jp



地方独立行政法人

東京都立産業技術研究センター

TOKYO METROPOLITAN INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE

技術セミナー（リアル開催）

感性を考慮した音質評価・音質改善 ～静音化から快音化へ向けた製品音のサウンドデザイン～

概 要

機械製品の動作音をはじめとして、製品音に対する要求は年々高まっています。また、製品音をサウンドデザインすることで、製品の付加価値とすることも世の中のトレンドになりつつあります。たとえば「自社の製品音（機構部品の開閉音、モータ動作音など）を改善し、高級感を創出したい」、「不快な動作音を改善したい」といった課題に対して、サウンドデザインが有効な場合があります。また、音質評価を行うことで「従来製品よりも聴感の音量〇〇%低減」といった効果的な製品音のPRも可能です。

本セミナーでは、音に関する基礎知識から、音質評価の方法、サウンドデザインによる製品音の快音化に関する事例などについて解説することで、サウンドデザインに関する知識を広く学んでいただきます。さらに、弊センターで所持している半無響室や無響室、製品音のサウンドデザインに関連した支援機器をご案内いたします。

「感性評価を用いた付加価値の高い製品音の設計」や「自社の製品音の効果的なPR方法」について興味のある方々の受講をおすすめします。

スケジュール

時 間	タ イ ト ル	講 師
14：00～15：45	感性を考慮した音質評価・音質改善 1. 音の基礎知識（音の大きさの評価、周波数分析） 2. 音質評価について（心理音響評価量、音質の主観評価） 3. サウンドデザインに関する研究事例紹介 4. サウンドデザインに有効な音質評価デモ	東京都立産業技術研究センター 光音技術グループ 宮入徹、中村史香
15：45～16：30	実験室および支援機器のご紹介 無響室、半無響室およびサウンドデザインに関連した支援機器を実際にご覧いただきます。また、本セミナーに関する質疑にお応えいたします。	
セミナー終了後、個別のご相談についてもお受けいたします。		

募集要項

- 利用約款** 下記ウェブページでご確認ください。
<https://www.iri-tokyo.jp/service/terms/>
- 応募資格** 原則として、日本の法人の従業員、個人事業主または創業を予定している個人
- 申込締切** 2024年10月21日(月) ※定員を超えた場合は期日前に締め切ることがあります。
- 申込方法** 下記ウェブページの申込フォームから、お申込みください。
<https://www.iri-tokyo.jp/seminar-event/seminar-241030/>
- 受講可否** 受講予定者には、請求書およびコンビニ払込書を郵送いたします。
定員などの関係で受講をお断りする場合、電話または電子メールでご連絡いたします。